



議会だより

第164号

かみみね



着々と進むフォアス工事（重機で排水管を埋設している様子）

平成24年12月定例会

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| ◎議案審議…………… P 2～4 | ◎一般質問…………… P 7～14 |
| ◎議案賛否表…………… P 5 | ◎上峰中学校子ども議会…… P 15～17 |
| ◎平成24年度補正予算…………… P 6 | ◎議会活動…………… P 18 |

上峰町ホームページ：<http://www.town.kamimine.lg.jp/>

発行 上峰町議会

〒849-0123 上峰町大字坊所383-1

人口 9557人 男 4566人

【12月末現在】 女 4991人

平成25年1月28日発行

☎0952(52)2184

編集 議会広報編集委員会

印刷 ㈱音成印刷

補正予算など12議案を可決・承認しました!

平成24年第4回定例会は12月7日から14日まで開催しました。52号議案から63号議案まで、専決処分報告の承認、条例・規則の改正、補正予算、土地の取得など慎重に審議し、原案通り可決しました。また30人以下学級実現等の意見書提出、平成23年度の決算特別委員会審査報告がなされました。

上峰町暴力団排除条例の一部改正

暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律の一部が改正され、平成24年10月30日に施行されたことに伴い改正するものです。

(全員賛成)

上峰町高額療養費貸付基金の設置及び管理に関する条例の一部改正

主な改正点

○ 社会保険各法に適用していた内容を、国民健康保険にも適用。

○ 貸付の不適格条項から、「町税及び国民健康保険税を滞納している者」を削除。

改正理由

「限度額認定証」の提示によって、高額療養費の支払いが自己負担限度額までで良いことになったため。

(全員賛成)

佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更

住民基本台帳法の一部改正及び現行の外国人登録法が廃止になることに伴い、佐賀県後期高齢者医療広域連合規約を変更するものです。

(全員賛成)

土地の取得について

三養基西部土地開発公社で所有するおたつしや館用地を町有地とするものです。

(全員賛成)

面積	6,005.04 m ²
金額	116,169,060 円



上峰町議会会議規則の一部改正

地方自治法の一部改正により、本会議においても委員会同様、公聴会の開催や参考人の招致ができるようにするものです。

(全員賛成)

上峰町議会委員会条例の一部改正

地方自治法の一部改正により、委員の選任等に関する事項が条例に委任されたため改正するものです。

(全員賛成)

証人等の費用弁償に関する条例の一部改正

地方自治法の一部改正により、本会議においても委員会同様、公聴会の開催や参考人の招致ができることとなったため費用弁償を支払えるようにするものです。

(全員賛成)

意見書

30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書

(全員賛成)

提出者 総務厚生常任委員長 碓 勝 征

2012年度の政府予算が成立し、小学校1年生の35人以下学級を実現するために必要な義務標準法の改正法も国会において成立した。これは30年ぶりの学級編制標準の引き下げであり、少人数学級の推進にむけ、ようやくスタートを切ることができた。今回の義務標準法改正条文の附則には、小学校2年生から中学校3年生までの学級編制標準を順次改定する検討と法制上を含めた措置を講ずること、措置を講じる際に必要な安定した財源を確保することも明記された。今後、35人以下学級の着実な実行が重要である。

日本はOECD諸国に比べて、1学級当たりの児童生徒数や教員1人当たりの児童生徒数が多くなっている。一人ひとりの子どもに丁寧な対応を行うためには、1クラスの学級規模を引き下げる必要がある。文部科学省が実施した「今後の学級編制及び教職員定数に関する国民からの意見募集」では、約6割が「小中学校の望ましい学級規模」として、26人、30人を挙げている。このように、保護者も30人以下学級を望んでいることは明らかである。新しい学習指導要領が本格的に始まり、授業時数や指導内容が増加している。また、

暴力行為や不登校・いじめ等、生徒指導面の課題が深刻化し、障害のある児童生徒や、日本語指導など特別な支援を必要とする子どもが顕著に増えている。このような中で、地方が独自に実施する少人数学級は高く評価されている。

子どもたちが全国どこに住んでいても、機会均等に一定水準の教育を受けられることが憲法上の要請である。しかし、教育予算について、GDPに占める教育費の割合は、OECD加盟国(28カ国)の中で日本は最下位となっている。また、三位一体の改革により、義務教育費国庫負担制度の国負担割合は2分の1から3分の1に引き下げられ、自治体財政を圧迫している。

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育は極めて重要である。未来への先行投資として、子どもや若者の学びを切れ目なく支援し、人材育成・創出から雇用・就業の拡大につなげる必要がある。こうした観点から、2

013年度政府の予算編成において下記の事項が実現するよう、強く要望する。

記

① 少人数学級を推進すること。具体的学級規模は、OECD諸国並みのゆたかな教育環境を整備するため、30人以下学級とすること。

② 教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の堅持とともに国負担割合を2分の1に復元すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

意見書提出先

内閣総理大臣

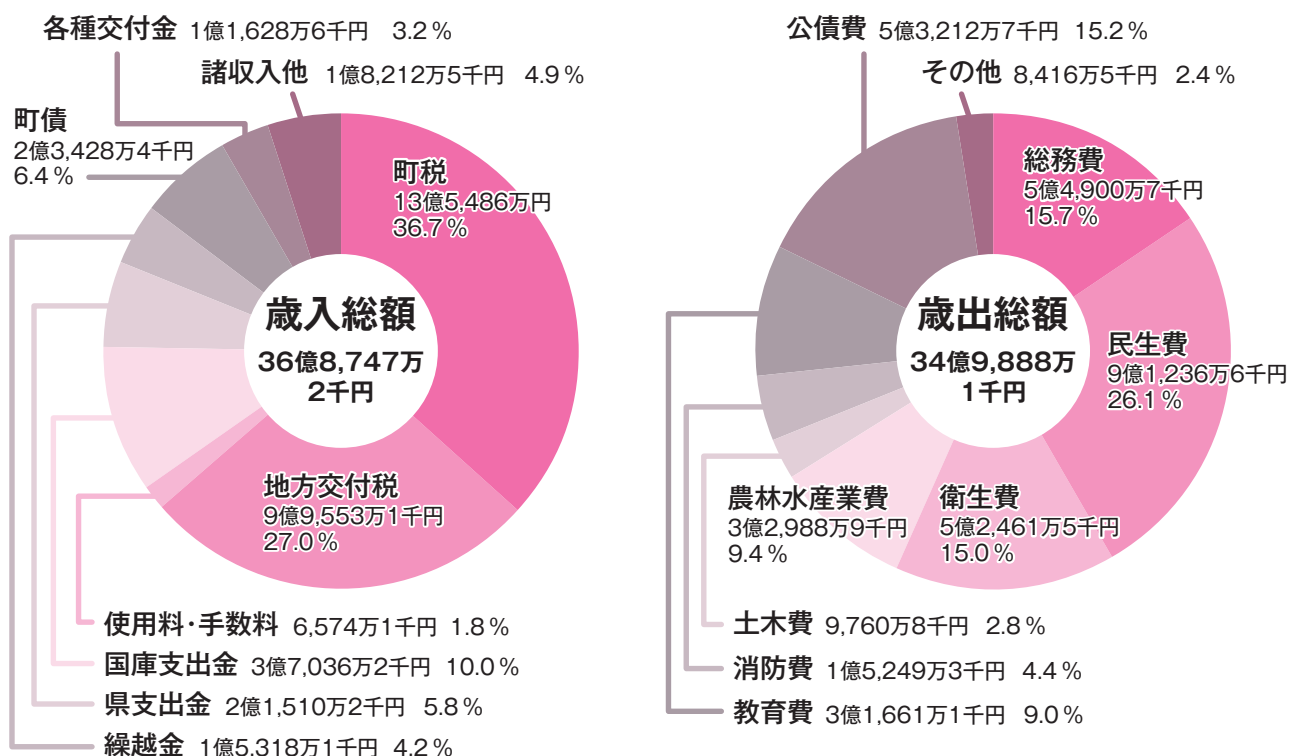
野田 佳彦様
参議院議長 平田 健二様
総務大臣 榎床 伸二様
財務大臣 城島 光力様
文部科学大臣 田中真紀子様

平成23年度 一般会計・特別会計決算を認定

決算特別委員会委員長 中山 五雄

平成24年9月12日の本会議において、本委員会に付託された平成23年度上峰町一般会計歳入歳出決算及び各種特別会計歳入歳出決算について、去る9月26日から28日までの3日間にわたり厳正なる審査を行い、監査委員の意見書及び執行部の内容説明を聞き、慎重な審査の結果、適正であることを認め全員賛成をもって認定すべきものと決定しました。

■一般会計（歳入総額 36億8,747万2千円：歳出総額 34億9,888万1千円：差引額 1億8,859万1千円）



■特別会計

特別会計名称	歳入総額	歳出総額	差引額
国民健康保険	9億9,512万7千円	8億7,443万2千円	1億2,069万5千円
後期高齢者医療	8,347万1千円	8,093万5千円	253万6千円
土地取得	154万9千円	0千円	154万9千円
農業集落排水	5億6,465万2千円	5億5,723万1千円	742万1千円

■主な財政指標

	指標の説明	平成23年度	平成22年度
財政力指数	町の財政力を表す指数。1に近い団体ほど自主財源の割合が高く、財政に余裕があるとされる。	0.58	0.62
経常収支比率	町の財政の弾力性を表す指標。数値が低い団体ほど自由に使える財源が多いとされる。	88.4%	88.6%
実質公債費比率	町の借金返済額が標準財政規模に占める割合を表す指標。18%を超えると起債の際に許可が必要となり、25%を超えると起債に制限がかかる。	21.2%	21.7%
将来負担比率	現時点で、町が将来負担すべき債務が標準財政規模の何倍あるかを表す指標。	113.9%	141.6%

みんなで知恵を出し汗をかこう！ 今年が良い年となるために！！

議長あつたつ



議長 大川 隆城

あけましておめでとうござい
ます。輝かしい新年をご家族お
揃いでお迎えになられたことと、
お慶び申し上げます。
昨年は全国的にいろんな事が
ありましたが、やはりその最た
るものは年末の衆議院選挙であ
り、突然のことではびっくりしま
したが、結果はご案内の通り自
民党の圧勝となり政権交代がな
され、安倍内閣の誕生となりました。
そして施策の第一に掲げ
られているのが景気浮揚対策で
あり、長引くデフレ脱却にむけ
て取組みが始まっています。円
相場も70円代の円高傾向から87
円代への円安傾向となり、輸出
産業については少しは良い兆し
が見えてきているようです。良
い意味での波及効果が地方にも、

特に我が町にも早く及ぶことを
期待して止みません。

12月定例会も無事終えました
が、今回から新しく就任された
教育長が出席されましたので全
般的にどう考えられているのか
を聞きたいと、教育問題に関す
る質問がいつもより多かった感
がしましたが、それだけ各議員
が子どもの教育に関心が高いこ
との表れだと思っています。

11月に中学生の子ども議会が
実施され、福祉、企業誘致、道
路整備、教育問題など町のこと
を自分たちの目線での確に捕ら
え質問しているのに感心し、そ
れをきちんと受け止め実現に向
けて検討する姿勢を示した執行
部に敬意を表します。

我が町は小さいですが、県内
3つの人口増の町の1つであり、
下水道を含む住環境整備も進ん
でいます。さらに良い町となる
ために老若男女皆が知恵をしぼ
り共に汗をかき、行政・議会が
車の両輪のごとく、切磋琢磨し
今年がさらに良い年となります
ように努力して参りたいと思い
ます。

平成24年 第4回定例会 議案賛否表

議案 番号	件 名	採決 結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9
			原 田 希	寺 崎 太 彦	橋 本 重 雄	碓 勝 征	林 眞 敏	松 田 俊 和	岡 光 廣	吉 富 隆	中 山 五 雄
42	平成23年度上峰町一般会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
43	平成23年度上峰町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
44	平成23年度上峰町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
45	平成23年度上峰町土地取得特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
46	平成23年度上峰町農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
52	専決処分の承認を求めることについて (平成24年度上峰町一般会計補正予算（専決第2号）)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○
53	上峰町暴力団排除条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
54	上峰町高額療養費貸付基金の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
55	平成25年度上峰町一般会計補正予算（第4号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
56	平成24年度上峰町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
57	平成24年度上峰町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
58	平成24年度上峰町農業集落排水特別会計補正予算（第2号）	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
59	土地の取得について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
60	佐賀県後期高齢者医療広域連合規約の変更について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
61	上峰町議会会議規則の一部を改正する規則	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
62	上峰町議会委員会条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
63	証人等の費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	30人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○
-	平成23年度決算特別委員会審査報告	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○

平成24年度

補正予算

一般会計

5,961万5千円増額して
総額36億8,399万4千円となる
補正予算の主なものは…

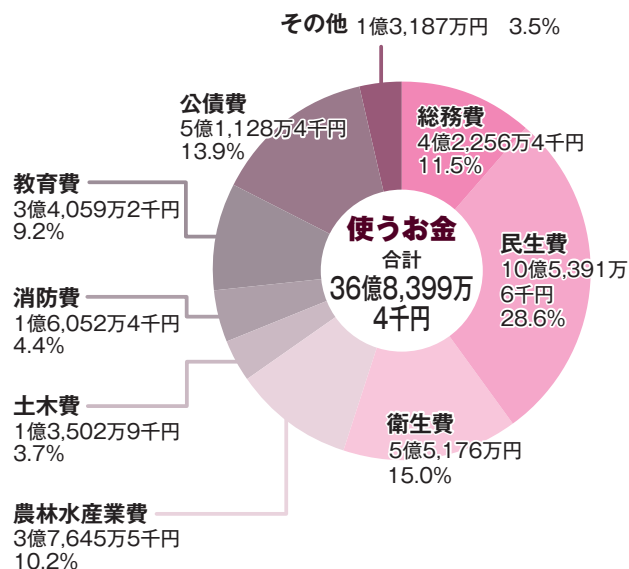
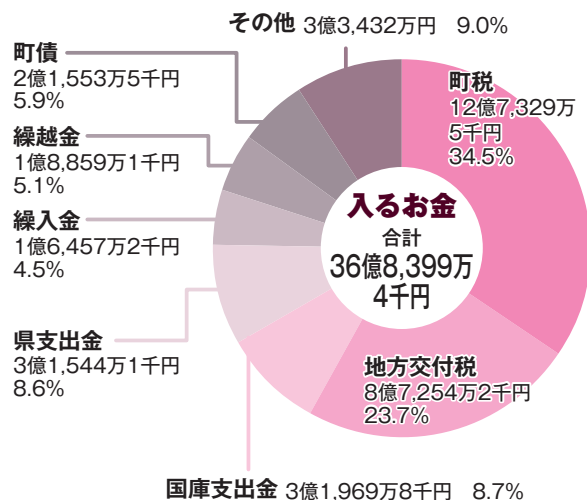
歳入（増額のみ）

- ◎町税
 - ・町民税 …………… 972万7千円
 - ・固定資産税 …………… 1,778万8千円
- ◎国庫支出金
 - ・衆議院議員選挙委託金 …… 827万6千円
- ◎県支出金
 - ・障害者福祉費負担金 …… 144万6千円
 - ・農林災害復旧負担金 …… 439万2千円
- ◎寄付金 …………… 100万円
- ◎可燃物・不燃物袋販売収入 … 302万4千円

歳出（増額のみ）

- ◎財政調整基金積立金 …… 751万5千円
- ◎減債基金積立金 …… 1,000万円
- ◎中の尾団地污水处理施設解体工事費
…………… 120万円
- ◎御陵公園フェンス改修工事費 …… 300万円
- ◎衆議院議員選挙執行経費 …… 827万6千円
- ◎障害者福祉費
 - ・更生医療給付費 …… 310万円
 - ・介護、訓練等給付費 …… 530万8千円
- ◎子どもの医療費助成費 …… 404万6千円
- ◎耕地整理ため池災害復旧工事費
…………… 600万円
- ◎鳥越川災害復旧工事費 …… 140万円

本会期までの累計



※町債とは借入金、公債費とは借入金の返済金です。
※国・県支出金は補助金です。

特別会計

国民健康保険特別会計

248万5千円を増額し、10億2,859万4千円となる

後期高齢者医療特別会計

1千円を増額し、9,154万5千円となる

農業集落排水特別会計

7,103万円を増額し、6億8,938万7千円となる

一般質問



そこが聞きたい



投書文鑑定の結果は

【答】結果は公表したい

議員

百条関連投書文の鑑定結果については、現時点でどのような状況なのか。

武廣町長

いただいた投書文には、作成者のところが黒色のインクで塗られていた。

その上塗りされた部分についての鑑定結果は、「上峰町を正しく、明るく、住みよい町づくりを願う町民大川紀男」というふうに書かれている。

よって投書文は、大川氏により作成されたものである

ると、答えさせていただきたい。

議員

鑑定は、町民からの請願と、町民の税金を使って行われたものであり、その結果については、町民に公表すべきものであると思うが、或いはそうでないと思うかについて返答をお願いしたい。

武廣町長

私は、私の立場で真相究明をしていきたいと、最初から、これはねつ造事件だと申し上げており、違法性



林 眞敏 議員

の阻却要件にも該当するので、これについては公表していききたいと思います。

町営住宅家賃未納対策は

【答】早め早めの対応に努力

議員

各住宅毎の未納者の割合はどうであるか、また未納者に対しては法的処置は行わないのか。

江崎振興課長

団地毎の滞納者は、坊所団地32戸中9戸、切通42戸中6戸、檉寺35戸中3戸、西峰32戸中7戸、米多54戸中1戸、計195戸中26戸の滞納がある。

未納金額は、平成23年度末で952万円となっている。その滞納対策については、



催告など一連の対策は実施しているが、法的処置の適用についても「町営住宅家賃等滞納整理事務処理要綱」において、民事訴訟法の規定も設けているが、本町においては当該訴訟等について実施された例はない。

議員

民間不動産会社では、早め早めの処理をする。行政は危機意識が少ないのではないかと。

民間のノウハウを活用してでも、少しずつ減らしていく努力、やむを得ない場合には略式裁判をしてでも何とかするという努力をしていただきたい。

学童の通学安全確保は

【答】現場指導、現地踏査する

議員

10月3日、井手口区内で起こった交通事故の対策と安全教育はどのように行われたか。

小野教育課長

安全指導は恒常的に行っている。この事故を受けて、翌日には臨時全校集会、また下校時の安全指導の徹底を図った。

議員

危険を予測できる場所等の教育は現地指導が大切である。是非、現場における教育をお願いしたい。

小野教育課長

教育現場の人とともに下校時等、現場に立ってみたいと思う。



坊所城島線の繁茂樹

県道坊所城島線の歩道内に覆い被さっている繁茂樹の処理はできるのか。

江崎振興課長

基本的には地権者ですが、通行等に支障があり、緊急性を要するもの等については、県のほうで伐採するという回答をいただいている。

議員

樹内にはNTTや九電の電線、また町の防犯灯も含まれており、子どもの通学安全から大切であり宜しくお願いしたい。

ほかに

○Jアラートについて

○陳腐財産について

一般質問

町長公約の進捗は

【答】80%の進捗

議員

町長自身、公約の進捗についてどう評価するか。

武蔵町長

就任した際に財政健全化を目指すという事が一番念頭にあった。実質公債費比率・将来負担比率を押し下げる事ができたのは、職員の努力のおかげだと思うし、議会と行政の努力が実を結んだものだと思っている。あわせて、住民サービスの維持・拡充を24項目上げていた。限られた財政で何とか実現を見てきた所だが、平成24年度80%の進捗となっている。



町長の公約

議員

次期町長選出馬の意向は。

武蔵町長

これまで財政健全化から始まり、財政健全化と住民サービスの維持、そして財政健全化と住民サービスの拡充という施政方針で進めてきたが、まだしばらくは小康状態であるので、財政健全化と住民サービスの拡充を並行しながら進める。だからこそ、責任が伴うものだと思うし、その責任を負って私は次の町長選挙に立候補させて頂きたいと思う。

ビジョン検討会後の考えは

【答】合併の機運が起き上がる

議員

鳥栖・三養基地域ビジョン検討委員会の最終報告を受けて、町長の考えは。

武蔵町長

この連携を進めるなかで今後の合併の機運が起き上がってくると考えているし、お互いのソフト事業の平準化がまず必要だという観点から、合併を念頭に連携事業を進める必要があると考えている。同時に枠組みについては、住民の皆様との話し合いが必要だと考えているので、様々な勉強会に出向いていきながら、連携のあり方、今後の自治体規模のあり方というものを考えていきながら、町にとって一番有益な枠組みを町民

の皆様と一緒に考えていきたいと思っている。

議員

行政規模町民意識調査は任期中に実施できるのか。

武蔵町長

任期中に実行していきたいと考える。

議員

実施の時期については、いつ頃と考えるか。

武蔵町長

連携事業実施・進捗管理委員会のスケジュールを確認しながら、適当な時期にビジョン検討会の概要版も含めて住民の皆様への告知をし、また、意識調査を実施していきたいと思う。

教育長の所信を問う

【答】次代を担う人材を育成

議員

新しく就任された教育長の、上峰町の教育に対する思いを伺う。

矢動丸教育長

確かな学力をつけてあげる学校、豊かな心を持ち、健やかで知徳体を身につけた児童・生徒の育成、これが子育て教育の町づくり上峰だと感じている。

上峰町に脈々と受け継がれている教育風土、このよき素晴らしい気持ちを受け継いでいる町民の皆様方のお力をかり、連携しながら児童・生徒を育てていきたいと思う。

教育は100年先を見通した夢を描くこと。100年の計は



夢を描くこと。100年の計は



三上地区の道路整備を

【答】 今後検討します

議員

町道下津毛三田川線 三上地区旧リックなかはらから吉野ヶ里に通じる道路の南側については、家が建っている所は幅員が広くなっているが、畑の所は路肩があるため狭くなっている。路肩の整備はできないか。

江崎振興課長

家が建っている所は6メートル位の幅員となっているので、路肩を整備すれば、6メートル幅の道路となる。

現在、米多坊所線との交差点の差路の交差点整備の概略設計をやっているところ



橋本 重雄 議員

なので、今後どのような整備をするかについて、法線等をにらみあわせながら計画していきたい。



町道下津毛三田川線

団地内の道路整備は

【答】 計画的に整備します

議員

現在、議員による防犯パトロールを実施しているところだが、町内を巡って見て、団地内の道路が狭く、車が離合するにも難しい状況である。

側溝にふた、またはグレーチングの整備をしたら、通りやすくなると思うが。



下津毛団地内の道路

江崎振興課長

都市計画施行前にできた団地については、今後、側溝の整備をして、道路幅員拡幅および排水問題に取り組んでいきたいと思っている。

今年度については、下津毛団地、切通団地の整備を予定している。

スクールゾーン内の道路整備を

【答】 優先度をつけて整備していく

議員

雨が降った後の道路には水たまりができ、そこを子どもたちは通学している。財政難とは思いますが、スクールゾーン内だけでも早急な整備が必要と思う。

武蔵町長

子どもたちの安全、安心を守るという観点から、スクールゾーンについても優先度をつけながら、行政で議論をし改善に向けて努力していきたいと思う。



痛んだ路面



ほかに

- 教育委員会について
- 祭行事の復活を
- 使用料の改定について
- 土地改良地区内の農振除外について
- 来年3月の町長選挙について



寺崎 太彦 議員

非構造部材の耐震対策は

答 全て、完了していない

議員

公共施設の、本体の耐震対策は100%できているが、本体以外の、窓、内外壁、照明器具、テレビ等の転倒など、非構造部材の耐震対策はできているのか。

小野教育課長

県内の学校施設で、非構造部材の耐震対策を行っているところはない。現在、上峰町の小・中学校の書棚の転倒防止は行っているが、非構造部材の耐震対策は、小・中学校とも行っていないのが現状である。

小・中学校とも改修工事を予定しており、その時に耐震対策ができれば施工を同時期にやっていきたいと

考えており、また、転倒防止や簡単にできる分については、随時やっていくよう指導していく。

北島企画課長

今、非常に問題になっているのは、学校の体育館が避難所を兼用しているため、非常事態時に、安心して避難できないのは問題と理解している。

庁舎については、避難所ではないので、基本的には最後に施工したいと考えている。また、経費がそんなにからなくて、効果が大きいものは、早速調査し、対応していきたい。



小学校書棚の転倒防止

スクールゾーンの設定は

答 設定していない

議員

通学路は、決まっているが、車やバイクから子どもを守る、スクールゾーンの設定は、どうなっているのか。

小野教育課長

スクールゾーンは、歩行者と車両の通行を分けて、通学時の児童の安全を図る

ことを目的に設定されている。歩行者の通行実態や道路の構造、地域住民の意見を総合的に判断し、車両の通行禁止や速度規制などの交通規制を行うものである。

上峰町は、通学路は設定しているが、スクールゾーンは設定していない。



中学校東側の通学路

議員

中学校と体育館の間の道路は、制限速度60キロで歩道もないが、速度の規制や路側帯のカラー舗装などの整備をしていただきたい。

小野教育課長

教育委員会及び学校は、適切な措置をとり、また警察、道路管理者と関係機関に対して、通学路の交通安全施設等の整備について協議をしていきたい。

教育長の教育方針は

答 今までと変わらない

議員

新しく、教育長が変わり今後の教育方針は、矢動丸教育長

町の教育方針は、教育委員会が定めていくので、教育長が変わっても、町の教育方針が変わるものではない。

町の方針は、

・確かな学力を育む教育の推進

・豊かな心を育む教育の推進

ほかに

○百条委員会への投書文の調査結果は

○消防車のネット競売は

○外記のため池の変則4差路は

・健やかな体を育む教育の推進

・時代のニーズに対応した教育の推進

・教育活動を支える環境の整備

・文化財の保護

という6つの柱を進めていく。

中1ギャップ、小4ギャップを解決するため先進校を参考にしながら、連携型の小中交流を進めていく。

農業の水害をどう防ぐか

【答】排水機を設置し、水害を防ぐよう取り組む

議員

7月の大雨による被害が出ている。

水の流れについては、坊所城島線を軸にして東西に流れるようになっている。

その6割は大字江迎地区に流入している。

そういった中で、農業の災害をどのようにして防ぐかということについては、

9月定例会で大字江迎地区に排水機の設置を質問していたが。

武廣町長

大字江迎地区への排水機の設置については、今後積極的に取り組む。



吉富 隆 議員



7月の大雨による被害状況

議員

町長は何も行動をしていないので、早急に対応をお願いする。

武廣町長

排水機の設置については、補助事業にのせて次の議会ではつきりと報告ができるように対応をしたい。

議員

強く要望する。

町税滞納について

議員

町の財政が厳しいので、滞納整理機構と連携し、取り組んでもらいたい。

白濱税務課長

今後は不納欠損をなくし、また、個人・法人についても努力をする。



北島企画課長

平成24年度決算見込みについて

議員

平成25年度の予算確保に努力をお願いする。

また、北部地区についても国・県に予算確保の努力をお願いする。

武廣町長

農業体質強化基盤整備促進事業（フォアス事業）については、平成25年度予算取りに努力する。

今後、二養基西部土地改良区には、全面的に協力する。

ほかに

○町の情報発信について

高額滞納者リスト

【個人】 (平成24年11月30日現在)

順位	滞納額 (円)
1	8,668,500
2	5,149,300
3	4,015,700
4	3,590,800
5	3,156,716
6	2,466,769
7	2,353,100
8	2,143,000
9	2,132,600
10	2,046,500
合計	35,722,985

【法人】

順位	滞納額 (円)
1	3,347,900
2	1,356,400
3	1,135,200
4	784,300
5	※不存在 698,300
6	※不存在 591,300
7	※不存在 230,900
8	※破産事件中 224,600
9	※不存在 179,200
10	※不存在 163,300
合計	8,711,400

町の振興対策について



松田 俊和 議員

教育長の今後の取組は

【答】学力・豊かな心・健康の向上に努める

議員

今後の方針は、どの点に重点を置いて進めるのか。

矢動丸教育長

町の基本方針が、確かな学力を育んでいくんだというこ、そして健やかな身体を育んでいくんだということであり、その方針に従って進める。

議員

知・徳・体の備わった心身で将来、上峰を担い、そして社会で活躍できるような人材育成に努めると言われたが、具体的内容は、矢動丸教育長

「和を以て尊しとなす」という気持ちで、色々な方と話をすることで、情報を共

有し、素早い対応、色々な方々の知恵を貰ってやっていけると思っている。

議員

小学校北門に関して、新設の考えは。

矢動丸教育長

教育委員会としても、大変真剣に受け止めており、早急の対応ということで指示を受けており、平成25年度の予算計上で対応するよう、現在動いている。

武廣町長

要求案が提出されるところで判断していきたいと思、教育委員会での判断は重く受け止めていきたいと考えている。

勘太郎川上流改修工事は

【答】平成25年3月までに完了

議員

水門より北側両側面および東側南面の改修工事の進捗状況は。

江崎振興課長

県が行っている「県営クリーク防災緊急応急対策事業」で施行され、平成25年3月までに完了する予定となっている。

議員

当箇所の工事後、両岸にガードレール設置を要望していたがどうなっているか。

江崎振興課長

県営の別のクリーク事業ということで、今計画書を作成中で、随時ガードレールの設置をしていきたいと思っている。ただ、路線的には5路線において要望がでっており、多額の費用がかかる見込みであり、毎年実施できるところを、計画的に実施していく。

町の交通安全全面は

【答】随時要望に応じていく



消えかかった道路標示（横断歩道）

議員

ソフト面・ハード面に対し、現在施行される計画は。

池田総務課長

ソフト面・ハード面共に、町の計画に基づいて施行しており、厳しい財政事情から交通安全費も、少なくなっているが、徐々に改善してきているところである。

江崎振興課長

ソフト面については、通学路における合同点検を8月22日に実施し、結果をホームページに掲載している。ハード面については、町道米多坊所線の水路の上

議員

ハード面に関して、路肩や交差点内の白線が消えている。今後の対応、考えは。

江崎振興課長

ライン関係については、調査を行っている。早めの措置として、今年度、中学校西側の交差点辺りについてライン引きを行っている。



工事中の勘太郎川

百条調査の経緯結果をどう思うか

【答】正しいことが正しくなされると思う

議員

百条委の経緯を述べる。

平成22年3月に百条委設置（投書文に基づいて、投書文・差出人公表されず）された。公費をつかい44名を証人喚問した。私自身も証言台に立った。

平成22年12月に百条委の

まとめとして、採用試験の作文の差し替えを誰がやったのかの調査から、虚偽発言したとして職員に焦点をかせ、佐賀地検へ告発された。

平成23年10月7日に佐賀地検より、この町職員採用試験の作文差し替え騒動をめぐり、町議会（百条委）

が虚偽の証言をしたとして

職員を告発していたが、嫌疑不十分で「不起訴」となる。

平成23年12月に住民団体より、請願書（投書文の公開と差出人の鑑定）が提出され、私と同僚議員が紹介議員になり、議長へ提出された。

平成24年4～5月に本会議より総務厚生委員会へ付託され、審査の結果、採択すべきものと決定した。（賛成4、反対1）

委員長より、本会議に報告し、質疑応答のあと、採択（賛成5、反対4）となる調査等予算計上されてお

査するように送付される。

先の同僚議員の質問に対し、町長より調査機関からの鑑定結果が示された。

私はこの百条委は、誰が何の目的で、何のために、

差出人公開されずに設置されたのか、このことは度々報道機関より報道され、正に住民を巻き込んだ「百条委騒動」だった。

この鑑定結果は、町長↓議長↓請願者へ報告される。

町長自らも喚問台に立たされ、この結果になった現在の心境を伺いたい。

武蔵町長

投書文（百条関連）の鑑定結果は、先の質問にお答えしていることと重複するので割愛する。

私は、正しいことが正しくなされると思う。

そして、住民・町民が、その公正という価値観を共有しながら、町づくりが進むことが大切だと、改めてこの百条委の調査をしたことと感じた。

百条調査の経緯・結果は

*百条委とは

地方自治法第百条の規定により、議会は町の事務に関する調査を行うことができる。関係人の出頭及び証言を請求することができる。

学校内の安全確保はできているのか

【答】小学校内へひかり保育園保護者等の車出入り継続中

議員

小学校の広報紙「ちんぜい」の中に、「学校内の車の出入りは遠慮して下さい。」とある。

児童の安全安心を確保したい思いが、書かれている。全国に子どもの通行中に車が突っ込む事故多発中。校長先生の心情は、一日も早く出入りをやめてもらいたいとの思いが伝わる。

出入りする福祉施設は持ち分の土地（町より払下げ分）を保有されている。それを活用いただきたい。以前からの経緯があり、固辞されているようだ。

児童の安全安心をどう思っているのか。福祉施設管理者の気持ちが変わらない。

教育委員会、一日も早く取り組んで、児童の安全安心を確保していただきたい。

矢動丸教育長

学校の安全・安心を守るというこの立場には、非常に重く責任を負っている。引き続き、数回ひかり保育園と協議したが、駐車場確保ができていないので、継続させてほしいとのこと。



小学校内の駐車場

ほかに

○御陵公園等について
○緊急雇用創出基金事業

○新地下水制御システム（フォアス）の整備

碇 勝征 議員



中山 五雄 議員

教育問題について

答 校内研修の充実と教師に対する授業研修会を実施

議員

不登校の児童・生徒はいないか。また、何日休めば不登校となるのか。

小野教育課長

小学校に2名、中学校に4名の不登校の児童・生徒がいる。

4月から通算20日以上休めば不登校となる。

議員

不登校生徒の調査は行ったのか。

小野教育課長

家庭訪問等を行い確認している。

議員

いじめはないのか。

小野教育課長

いじめの報告は現在のところ受けていない。

議員

学力向上のための取り組みは。

小野教育課長

小学校では、校内研修の充実と教師に対する授業研修会を実施している。

議員

人の痛みや苦しみ等のわかる子どもになるよう、今後も努力していただきたい。

矢動丸教育長

学力向上については肝に銘じて、今後指導をしていきたい。



町民市

町民市について

答 知恵と工夫でつくりあげる

議員

吉野ヶ里町では軽トラ市に450万円の補助を出している。上峰町ではラジオ放送「カミング！上峰」に約2000万円かかっているが、町民市にも行政のバックアップができないものか。

武蔵町長

厳しい財政状況なので、知恵と工夫で皆さんで作る。上峰町にできればと考えている。

西峰東西2号線について

答 補助事業で対応したい

議員

下坊所十字路は私も毎日のように通っているが、非常に危ないと思う。保育園児の送迎や学校生徒の通学路にもなっていて、大変危険なので優先順位を先にと

江崎振興課長

坊所南北線の改良と合わせて、何らかの補助に乗せてと思っている。

武蔵町長

議会終了後、すぐに話し合いをさせていただくことだけ約束できると思う。

子ども議会での要望について

答 大規模改修に合わせて検討

議員

子ども議会での質問内容は、早急にやる事ばかりだったが、中でも中学校のICT設備が十分でないことと、洋式トイレが、校舎に1つしかないということで、早急に対応できないのか。

改修に合わせて検討したい。

武蔵町長

平成25年度の要求はすでに各課からは終わっている。平成27年か28年に、大規模



子ども議会 風景

上峰中学校 子ども議会

平成24年11月15日、上峰町議会議場において、上峰中学校の3年生による子ども議会が開催されました。

普段の生活の中での疑問や、総合学習で学んだことなどを、町長はじめ、町執行部に対し、鋭く質問をされていました。

議会を終えての感想をそれぞれ書いていただきました。

議長 古村 達哉

子ども議会、それは中学生が実際に町議会に参加して自分の意見を述べるものです。

自分は議長を務めました。「緊張しない、緊張しない」と言い聞かせていましたが、いざその時が近づくとそんなことは忘れてしまいました。そして、自分の名前を呼ばれて議長席に着席、その瞬間緊張がピークに達しました。生徒議員の名前を呼び、町執行部の皆さんの回答、それが続くにつれて緊張はほぐれていきました。隣で、「次はここ」と小声で言ってくれる鶴田さんの存在がとても大きく感じました。そして浅田さんと議長を交替しました。その瞬間、緊張が走っていた体に背骨がなくなったように力が抜けました。最後に執行部の皆さんが熱い握手を交わしてくれました。さらに「議長、上手やったよ。」と言われて心から嬉しかったです。

この経験をこれから生かしていきたいと思います。

貴重な経験をさせていただき、ありがとうございます。

議長 浅田真利亜

私は議長を務めさせていただきました。初めは実感もなく、とりあえず頑張ろうという少し軽い気持ちでした。でも、本番1週間前にリハーサルで議場へ行き、議長席に座ってみると、ものすごい緊張感に襲われました。

本番は、傍聴席や議員席にたくさんの方がいらっしやるのを見て「私達の頑張りをみてもらおう」という強い気持ちに変わっていました。私は後半の議事進行の担当だったので、しばらくは皆の様子を見ていました。議員のみんなが質問をしている姿からは、緊張感が伝わってきました。少し不安にもなりましたが、古村君と交代したあとは意外とスラスラ言葉が出てきました。

答弁をしてくださった方々は多くの時間をかけて調べてありとても分かりや

すく話してくださったので理解することができました。いい経験になったと思います。ご指導いただいた方々に、感謝しています。



江島なる美 議員

11月15日。私は1日上峰町議会議員として子ども議会に参加しました。議場内ははりつめた空気で、重々しい雰囲気の中開会しました。

大変緊張しましたが、これまで防犯について調査をしたり、実際に体験して思ったことについてグループの代表として、しっかり

と質問をしていこうと思いました。質問をした内容について、今の町の防犯に関する現状や取り組み等を分かりやすく、丁寧に答弁していただきました。その

中で私が一番感じたことは、普段あたり前のように生活を、通学していることに深く感謝をしなればならないということです。地域の方、行政の方、学校の先生方、その他多くの方の支えや見守って頂いている環境があることを強く感じました。

今回子ども議会に参加させていただいて上峰町のことについてまた深く考えることができました。ありがとうございました。

中島 圭輔 議員

僕は上峰町の防災についての質問をしました。東日本大震災が起きたことで、日本各地で防災対策が見直されていることを知り、上



峰町は防災対策を練り直したり、安全な生活のための話し合いが行われたりしているのかなと疑問に思ったからです。夏休み前から議会に向けての活動を始めて、十月に総務課の方々に話を聞いたり、質問をしたりしました。そのお話がとてもわかりやすかったので、疑問に思うことが一つもなくなりました。「これでは質問書ができない」と少し焦りましたが、もう一度自分たちの生活も含めて見直しをし、無事に一般質問書を作ることができました。

僕は子ども議会に参加し、上峰町について考え、意見

を述べることは僕たち中学生にとっても、大切なことだと思いました。そして、今より良い上峰町になるといいです。またこのような機会があったら参加し、ぜひ「再質問」をしたいです。



福島 綾乃 議員

私は初めて「子ども議会」に参加しました。会場では、すごく緊張しました。

私は今回「上峰町の広報活動」について質問しました。その中でも中心に質問させていただいたのが、「米多浮立」です。私の場合幸運にも、祖父が元米多浮立

の保存会長なので、いろんなことを教わりました。

私は上米多地区に住んでいるので、「米多浮立」にも参加したことがあり、たいていのことは知っていると思うのですが、まだまだ知らないことがたくさんありました。今回改めて調べてみて、驚くことがたくさんありました。「米多浮立」が他の地域の浮立と大きく違っていること、大変歴史が深いこと、さらにゆるキャラ「てんりゅうくん」はふるさと学館のオリジナルキャラだということも新たな発見でした。

私は、皆にもっともっと上峰のことを知ってもらい、多くの人が訪れる町になってほしいと思っています。

私たちの質問に真面目にきちんと答えてくださった担当の方々に心から感謝しています。こんな貴重な体験をさせていただき、本当によかったと思っています。

下村 智紀 議員

僕は今回の会議で、上峰



中学校のICT設備について質問をしました。

ICTとは情報通信技術のことです。今回、ICTの利用についてたくさんの方の話を調べました。僕は最初、ICTについて全く知らなかったので質問をまとめるのが大変でした。

議会当日、会場は静まりかえっていて、僕はとても緊張しました。リハーサルの際はあまり実感がわかなかったのです。実際にみんなが見ている前で演壇に立つと、自分の発言の責任の重大さを感じました。僕の質問に、執行部の方たちが丁寧に分かりやすく答弁し

てくださったので、納得することができました。

僕は子ども議会を通してみんなに伝わるように自分の意見を主張するという貴重な体験をすることができました。この体験はきっと将来役に立つと思います。

僕たちも上峰町民として上峰町の今後のことをこれからも考えていくべきだと思います。



大坪 翔太 議員

僕たちは、太陽光発電について調査し、質問・要望を述べました。このテーマを設定したのは、最近、エ

ネルギー問題が深刻になってきたからです。

最初はインターネットで調べればいいだろうと思っていたのですが、でも自分たちの足を使っての調査が始まりました。まず学校の1年間の電気代を調べると、400万円という数字が出てきました。ここで、僕たちの提案の重要さがわかりました。次に屋上に上り、ソーラーパネルの設置可能な面積があるかを調べました。こういったいろいろな調査をして本番を迎えました。一般質問書が出来上がってきたからは、家毎日練習しました。そのかいもあって本番ではうまく話せました。

この子ども議会を通して、普段入れない屋上に入った電気代を調べたり、思わぬ経験ができました。これからにも生かしていきたいと思っています。



杉谷 瑞季 議員

「ユニバーサルデザイン」それは、だれもが使える、人に優しいデザインのことです。

私は上峰町の「UD化対策」について質問しました。現在佐賀県では、UDの考え方が推進されています。

ですが、考えてみると、私達が住んでいる上峰町には、そういった設備が少ないと思います。実際にUDの設置が整った「ふるさと学館」にお話を伺いに行きました。UD化されているので、ふるさと学館は何かと「利用しやすい」との意見が数多くあるそうです。「ふ

るさと学館」だけではなく、あらゆることにUDの考え方を取り入れた町作りをお願いしたところ、ぜひUDの考え方を取りいれ考えていきたいという回答をいただきました。

今後、全ての人が住みやすい上峰町になってほしいと思います。



藤崎 響 議員

僕たちは、当初、他のテーマで調査を進めていたのですが、上峰町により必要なことは「産業の振興・企業誘致」だと考え、途中から変更して質問を考えること

になりました。

急いで情報を集め、夏休みにも準備するつもりでしたが、なかなかうまく進まず、何とか本番に間に合わせることで精一杯でした。

質問書ができあがったのも先生方のおかげで、自分の力不足を痛感しました。しかし、僕は、この「子ども議会」を通して、町をよりよくするとはどういうことなのか、また、よくすることの大変さを知ることができました。そして、役場の方々の仕事がいかに重要であるかということが分かりました。

産業の発展がなければ、上峰町は今以上に住みやすい所にはならないと僕は思っています。企業が進出してくるといことは、単に経済面の発展にとどまらず、福祉や教育の面にも反映されることが多いと考えるからです。これからの上峰町に期待します。

納富 里美 議員

夏休みから「上峰町の人



口増加と住み良い町づくり」を課題にアンケート調査、集計、それを元に質問書の作成等、自分たちなりに頑張りました。身近な問題と、日頃感じていた質問に町の執行部の方は丁寧な答弁をして下さいました。リハーサルもありましたが、



町の議会場のはりつめた雰囲気、緊迫した中での自分の発表、答弁に対しての再質問。自分の意見をしっかりと言えているのかとドキドキの連続でした。

貴重な経験をさせてくださった方々に感謝しています。現在はインターネットや携帯を使って意見交換をするようになってきているけれど、大事な事を決めるためには、いろんな方との意見交換や議論を行う事の大切さを感じました。今まで知らなかった町の取り組みや行政、上峰町の事に目を向ける体験だったと思います。民主主義を体感した事を生かし、これからも頑張りたいと思います。



いきいき!!

文化協会サークル

紹介

5

コーラス サルビアの会

サルビアの会は毎月第1水曜日と第3水曜日に9時30分より11時迄、庄司富子先生の指導により町民センター視聴覚室で、会員の親交を深めながら、昔懐かしい曲や童謡、唱歌、流行している曲等を楽しく大きな声を出して練習しています。

振り返れば発足してからもう24〜25年、唄っている時は

アートフラワーサークル

平成2年に「感謝と謙虚」



皆20代〜30代みたいに生き生きとした気分になり、唄うことによりストレスも解消し、あつという間に1時間半の練習時間が過ぎてしまいます。

文化祭への出演はもとより各種行事への参加、介護老人福祉施設への訪問活動も実施しています。老人ホームでは、顔見知りの方との会話や握手、そして一緒に楽しそうに唄って下さる方々とのコミュニケーションが忘れられません。

をモットーに、サークルが発足しました。正式名は飯田深雪アートフラワーです。

現在超ベテラン10名と、昨年から始められた4名、講師1名の計15名で活動しています。

アートフラワーとは、白い布に型をとり染色をしコテをあてワイヤーを貼り組み立て、本物により近く、芸術的に創り上げます。

毎年作品のレイアウトが大変であり、みんなで知恵を出し合い、1年の総まとめをし

皆様も唄うことの楽しさを味わってみませんか。

連絡先 重松 晴美

☎0952-5215067



て、文化祭の時に町民センターロビーに展示させていただいています。

毎年生涯学習の一環として、上峰小3年生全員に、半日で出来る簡単な作品を、みんなで下準備して教えるに行っています。また依頼があった各団体グループにも教えるに行っています。

皆様もよかったですら1回チャレンジしてみませんか。

連絡先 石丸 逸子

☎0952-5210566

各種行事への参加(10月〜12月)

- 10月5日 町防衛協会研修会
- 10月7日 町民体育大会
- 10月13日 目達原駐屯地創立記念行事
- 10月15日 市町村行政講演会
- 11月2日 上峰中学校文化発表会
- 11月3日 町民文化祭
- 11月17日 ひかり保育園発表会
- 11月25日 上峰幼稚園おゆづき会
- 12月16日 おたっしや館もちつき交流会
- 12月20日 同和問題市町講座



おたっしや館もちつき交流会

あとがき

町内の田んぼの中に建設機械が入っていることにお気づきでしょうか。

これは、安定した農業経営のため、農業用水の管理・田畑転換が容易に、大幅な節水が可能になるなど、生産性の向上等、田畑改良の工事です。

このように当町を取り巻く環境は、日ごとに変化しつつあります。

また、上峰中学校の3年生による子ども議会が開催され、議員になった中学生は普段の生活の中での疑問点について、あらゆる角度から質問をしていました。

このように私たち議会人の気のつかない「町の問題点」について真剣に考える子ども達の素直な心を大切にして、今後とも議会活動をしてまいりたいと思います。

議会だより

広報編集委員会

委員長 林 眞敏

副委員長 原田 希

委員 碓 勝征

委員 橋本 重雄

委員 寺崎 太彦